

宇治久世 認知症懇話会

－シリーズ・症例を味わう－

認知症診療を続けていると認知症診断の面白さ(困難さ)を経験するのは違った局面に出会うことがあります。

例えば、開業医の醍醐味の一つは診療の中で医療がある確かな力をもっていることを実感することですが、進行したステージの認知症を持った人との関わりの中では簡単にそれを見だしにくいと思うことがあります。

そんな時には自分の無力を呪うことになりませんが、いうまでもなく先人は、

このような挫折を力に変えて、それを後に残してきたわけです。

さて、今後の医療提供体制や増加する認知症患者のことを考えると、開業医が進行した在宅認知症患者や施設認知症患者の一部を診療するケースも少なくないと考えられます。

今回はそのような症例を皆さんで多面的に議論していただければ、開業医の認知症診療の可能性が広がるかもしれません。さらには地域包括ケアの新たな地平をみることができるとも思えません。

皆さんの経験や知恵を貸してください。

かどさか内科クリニック 門阪 庄三

日時

2017年 9月 2日 (土) 18時00分～

場所

宇治市産業会館・宇治商工会議所

〒611-0021 京都府宇治市宇治琵琶45-13

TEL : 0774-23-3101

情報提供

「アルツハイマー型認知症治療剤 メマリーについて」

第一三共株式会社

特別講演

『新・認知症診療マニュアルについて』

演者

かどさか内科クリニック 院長 門阪 庄三 先生

症例検討

コメンター

京都府立洛南病院 精神科 副院長 森 俊夫 先生

症例報告

かどさか内科クリニック 院長 門阪 庄三 先生

症例1 『在宅認知症夫婦の諍い』

症例2 『サービス付き高齢者専用住宅に移り住んだ夫婦の混乱』

※ 当日はお弁当を準備致しております

※ ご参加いただいた確認のため、ご施設・ご芳名の記帳をお願い申し上げます。尚、記帳頂いたご施設・ご芳名は、医薬品および医学・薬学に関する情報提供のために利用させて頂くことがございます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

共催：宇治久世医師会/第一三共株式会社